履修体系図

栄養学科　基礎教育科目「S-BASIC」　体系図

※表中の数字は単位数を表し、2 は必修科目、② は選択科目です。

科目群の学習・到達目標	1年	2年	3年	4年

■知識・理解として身に付ける能力

多文化や異文化に関する知識の理解と人類の文化や社会と自然に関する知識について理解します。

人間の理解

学習目標
社会生活を送るうえで身に付けておくべき人間や人間理解に関する基本的な知識と複合的な視点を養うとともに、豊かな人間性を涵養します。

- 人間心理と人間行動 ①
- 健康管理と身体活動 ①
- スポーツと運動科学 ①
- 日本社会と歴史文化 ①
- 現代家族と育児介護 ①
- 生命科学と物理化学 ①

社会の理解

学習目標
社会的に重要な特定の主題や現代社会が直面する基本的な諸課題に関する知識と総合的に判断し対処する能力を養います。

- 情報社会とデータサイエンス ①
- 法律社会と法律問題 ①
- 日本国家と政治行政 ①
- 現代医療と生命倫理 ①
- 福祉政策と福祉制度 ①
- 経済構造と経済政策 ①

国際の理解

学習目標
国際社会で生じている諸課題に対する認識と現代国際事情について総合的に理解し、国際協調に貢献できる国際教養を身に付けます。

- 国際社会と国際問題 ①
- 世界動向と国際貢献 ①
- 国際平和と安全保障 ①
- 地球環境と環境対策 ①
- 国際関係と日本外交 ①
- 世界宗教と民族問題 ①

■汎用的技能として身に付ける能力

知的活動でも職業生活や社会生活でも必要な技能として、コミュニケーション・スキル、数量的スキル、論理的思考力、情報リテラシー、問題解決力を習得します。

コミュニケーション・スキル（日本語）

学習目標
日本語を用いて自分の意思、思想、感情などを相手に伝達するための実践的な方法を学びます。

到達目標
文章の読解と分析に関する基本的な能力を身に付けます。
作文や論文など文章作成に関する基本的な能力を身に付けます。
発表や討論をするための基本的な方法論を身に付けます。
企画や立案に関する能力及び独創的な発想能力を身に付けます。
提案のための説得力や自己表現法に関する能力を身に付けます。

- 表現技法Ⅰ（読解・分析） 1
- 表現技法Ⅱ（作文・論文） 1
- 表現技法Ⅲ（発表・討論） 1
- 表現技法Ⅳ（企画・立案） ①
- 表現技法Ⅴ（プレゼンテーション） ①

コミュニケーション・スキル（英語）

学習目標
英語による日常生活における基本的な会話と文章によるコミュニケーション能力を養います。

到達目標
日常生活における英会話を中心とする基本的な能力を身に付けます。
日常生活における英会話を中心とする応用的な能力を身に付けます。
日常生活における英会話を中心とする実践的な能力を身に付けます。
ディベートやディスカッションなど実践的な運用能力を身に付けます。

- コミュニケーション英語Ⅰ（基礎） 1
- コミュニケーション英語Ⅱ（応用） 1
- コミュニケーション英語Ⅲ（実践） 1
- コミュニケーション英語Ⅳ（実践） ①

数量的スキル、論理的思考力、情報リテラシー

学習目標
情報通信技術を用いて、情報を収集、分析、判断し、効果的に活用できる能力を養成します。
情報や知識を複眼的、論理的に分析し、表現できる能力を養成します。

到達目標
コンピュータとソフトウェアの利用方法に関する能力を身に付けます。
インターネットを利用しての情報検索法に関する能力を身に付けます。
情報収集、加工、廃棄などの情報管理法に関する能力を身に付けます。
統計資料などのデータの見方、要約方法、分析手法に関する能力を身に付けます。
情報の定量的、定性的な分析手法と分析結果の表現に関する能力を身に付けます。

- 情報リテラシー 1
- データリテラシー 1
- 統計分析法 ①

問題解決力

学習目標
問題を発見し、解決に必要な情報を収集、分析、整理し、その問題を解決できる能力を養成します。

到達目標
問題の発見方法と課題や対策の設定方法に関する能力を身に付けます。

- 問題解決法 1

■態度・志向性として身に付ける能力

社会人として求められる態度や志向性として、自己管理力、倫理観、チームワーク、リーダーシップ、市民としての社会的責任、生涯学習力を習得します。

自己管理力・倫理観

学習目標
自らを律して行動でき、自己の良心と社会の規範やルールに従って行動することができる態度を養成します。

到達目標
善悪をわきまえて、自発的に正しい行為へと促すための内面的な規範姿勢を身に付けます。
人として守り行うべき道や正邪の判断において規準となる道徳感やモラルを身に付けます。

- 自己管理と社会規範 1

チームワーク・リーダーシップ

学習目標
他者と協調・協働して行動できる、また、他者に方向性を示し、目標の実現のために動員できる態度を養成します。

到達目標
多くの人々をまとめて率いて、目的や方向に向かって教え導く能力を身に付けます。
物事に進んで取り組むことができ、自ら目的を設定し、確実に行動することができる能力を身に付けます。

- チームワークとリーダーシップ 1
- 他者理解と信頼関係 1

市民としての社会的責任

学習目標
社会の一員としての意識を持ち、義務と権利を適正に行使しつつ、社会の発展のために積極的に関与できる態度を養成します。

到達目標
社会貢献の基本的意義と地域活動の社会的役割について理解し、社会貢献への参画意識を身に付けます。
指示を待つのではなく、自らやるべきことを見つけて積極的に取り組む姿勢を身に付けます。

- 地域活動と社会貢献 1

生涯学習力

学習目標
職業観を有し、卒業後も自律・自立して学習できる態度を養成します。

到達目標
将来への目的意識や自ら設定した目標に対して、それを行動に移し、粘り強く取り組む姿勢を身に付けます。

- 初年次セミナー（学習の目的と技術） 1
- 利他共生 1
- 社会的・職業的自立Ⅰ 1
- 社会的・職業的自立Ⅱ 1

■統合的な学習経験と創造的思考力として身に付ける能力

これまでに獲得した知識・技能・態度等を総合的に活用し、自らが立てた新たな課題にそれらを適用し、その課題を解決する能力を養成します。

学習目標
これまでに獲得した知識・技能・態度等を活用し、課題を解決する能力を養成します。

到達目標
自らが立てた課題の解決にむけた方法の検討と選択をすることができる能力を身につけます。
資料収集や分析報告、意見交換などを通じて、自己の考えを展開する能力を身に付けます。

- 創造思考法 1

太字下線 … 主要授業科目
※ …… 管理栄養士　必修科目
※★ …… 管理栄養士　いずれか1単位を修得しなければならない科目
※● …… 栄養教諭（一種）　選択科目

栄養学科　専門教育科目　体系図

科目群の学習・到達目標

■社会・環境と健康

人間や生活についての理解を深めるとともに、社会や環境が人間の健康をどう規定し左右するか、あるいは人間の健康を保持増進するための社会や環境はどうあるべきかなど社会や環境と健康の関わりについて理解する。
・人間や生活を生態系に位置づけて理解する。
・人間の行動特性とその基本的メカニズムを理解する。
・社会や環境と健康との関係を理解するとともに、社会や環境の変化が健康に与える影響を理解する。
・健康の概念、健康増進や疾病予防の考え方やその取り組みについて理解する。
・健康情報の利用方法、情報管理や情報処理について理解する。
・保健・医療・福祉・介護システムの概要を理解する。

■人体の構造と機能及び疾病の成り立ち

(1) 人体の構造や機能を系統的に理解する。
・正常な人体の仕組みについて、個体とその機能を構成する遺伝子レベル細胞レベルから組織・器官レベルまでの構造や機能を理解する。
・個体として人体が行う食事、運動、休養などの基本的活動の機構、並びに環境変化に対する対応機構を理解する。
(2) 主要疾患の成因、病態、診断、治療等を理解する。
・生活習慣病、栄養疾患、消化器疾患、代謝疾患、感染症免疫・アレルギー疾患、腎疾患等の概要を理解する。
・疾病の発症や進行を理解する。
・病態評価や診断、治療の基本的考え方を理解する。
・人体と微生物や毒性物質との相互関係について理解し病原微生物の感染から発症、その防御の機構を理解する。

■食べ物と健康

食品の各種成分を理解する。また、食品の生育・生産から、加工・調理を経て、人に摂取されるまでの過程について学び、人体に対しての栄養面や安全面等への影響や評価を理解する。
・人間と食べ物の関わりについて、食品の歴史的変遷と食物連鎖の両面から理解する。
・食品の栄養特性、物性等について理解する。
・新規食品・食品成分が健康に与える影響、それらの疾病予防に対する役割を理解する。
・栄養面、安全面、嗜好面の各特性を高める食品の加工や調理の方法を理解して修得する。
・食品の安全性の重要性を認識し、衛生管理の方法を理解する。

■基礎栄養学

栄養とは何か、その意義について理解する。健康の保持・増進、疾病の予防・治療における栄養の役割を理解し、エネルギー、栄養素の代謝とその生理的意義を理解する。

■応用栄養学

身体状況や栄養状態に応じた栄養管理の考え方を理解する。妊娠や発育、加齢など人体の構造や機能の変化に伴う栄養状態等の変化について十分に理解することにより、栄養状態の評価・判定（栄養アセスメント）の基本的考え方を修得する。また、健康増進、疾病予防に寄与する栄養素の機能等を理解し、健康への影響に関するリスク管理の基本的考え方や方法について理解する。

■栄養教育論

健康・栄養状態、食行動、食環境等に関する情報の収集・分析、それらを総合的に評価・判定する能力を養う。また対象に応じた栄養教育プログラムの作成・実施・評価を総合的にマネジメントできるよう健康や生活の質（QOL）の向上につながる主体的な実践力形成の支援に必要な健康・栄養教育の理論と方法を修得する。特に行動科学やカウンセリングなどの理論と応用については演習・実習を活用して学ぶ。さらに身体的、精神的、社会的状況等ライフステージ、ライフスタイルに応じた栄養教育のあり方、方法について修得する。

■臨床栄養学

傷病者の病態や栄養状態の特徴に基づいて、適切な栄養管理を行うために、栄養ケアプランの作成、実施、評価に関する総合的なマネジメントの考え方を理解し、具体的な栄養状態の評価・判定、栄養補給、栄養教育、食品と医薬品の相互作用について修得する。特に各種計測による評価・判定方法やベッドサイドの栄養指導などについては実習を活用して学ぶ。また医療・介護制度やチーム医療における役割について理解する。さらにライフステージ別、各種疾患別に身体状況（口腔状態を含む）や栄養状態に応じた具体的な栄養管理方法について修得する。

■公衆栄養学

地域や職域等の健康・栄養問題とそれを取り巻く自然、社会、経済、文化的要因に関する情報を収集・分析し、それらを総合的に評価・判定する能力を養う。また、保健・医療・福祉・介護システムの中で、栄養上のハイリスク集団の特定とともにあらゆる健康・栄養状態の者に対し適切な栄養関連サービスを提供するプログラムの作成・実施・評価の総合的なマネジメントに必要な理論と方法を修得する。さらに各種サービスやプログラムの調整、人的資源など社会的資源の活用、栄養情報の管理、コミュニケーションの管理などの仕組みについて理解する。

1年 前学期

- ※生化学 2
- ※解剖生理学Ⅰ 2
- ※微生物学 2
- ※食品化学Ⅰ 2
- ※食品化学実験Ⅰ 1
- ※調理学 2
- ※調理学実習Ⅰ 1
- ※基礎栄養学 2

1年 後学期

- ※健康管理論 2
- 社会福祉学概論 ②
- ※解剖生理学Ⅱ 2
- ※解剖生理学実習 1
- ※微生物学実験 1
- ※食品化学Ⅱ 2
- ※食品化学実験Ⅱ 1
- ※基礎栄養学実験 1
- ※応用栄養学Ⅰ 2

2年 前学期

- ※公衆衛生学 2
- ※生化学実験 1
- ※食品衛生学 2
- ※調理科学実験 1
- ※応用栄養学Ⅱ 2
- ※応用栄養学実習 1
- ※栄養教育論Ⅰ 2
- ※臨床栄養学Ⅰ 2
- ※臨床栄養学実習Ⅰ 1

2年 後学期

- ※栄養生化学実験 1
- ※病理病態学Ⅰ 2
- ※食品衛生学実験 1
- ※公衆栄養学Ⅰ 2

3年 前学期

- ※保健医療統計学 2
- ※病理病態学Ⅱ 2
- ※応用栄養学Ⅲ 2
- ※栄養教育論Ⅲ 2
- ※栄養教育論実習Ⅱ 1
- ※臨床栄養学Ⅲ 2
- ※臨床栄養学実習Ⅱ 1
- ※公衆栄養学Ⅱ 2
- ※公衆栄養学実習 1

3年 後学期

- 疫学 ②
- ※分子栄養学 2
- ※臨床栄養学Ⅳ 2

4年 前学期

4年 後学期

太字下線 … 主要授業科目
※ …… 管理栄養士　必修科目
※★ …… 管理栄養士　いずれか1単位を修得しなければならない科目
※● …… 栄養教諭（一種）　選択科目

栄養学科　専門教育科目　体系図

科目群の学習・到達目標

■給食経営管理論
給食運営や関連の資源（食品流通や食品開発の状況、給食に関わる組織や経費等）を総合的に判断し、栄養面、安全面、経済面全般のマネジメントを行う能力を養う。マーケティングの原理や応用を理解するとともに、組織管理などのマネジメントの基本的な考え方や方法を修得する。

■総合演習
専門分野を横断して、栄養評価や管理が行える総合的な能力を養う。

■臨地実習
実践活動の場での課題発見、解決を通して、栄養評価・判定に基づく適切なマネジメントを行うために必要とされる専門的知識および技術の統合を図る。

■卒業研究
各分野において専門的テーマに基づき研究の探究を図る。研究課題とその目標を明確にし、文献調査や研究法を修得すること、更に、実験系においては分析技術を修得し社会に出ても即戦力となる能力を身に付けること、更に、収集資料や、データを処理するための統計処理方法を修得することを目標とする。

■専門関連科目
フードスペシャリスト認定試験に必須なフードスペシャリスト論、フードコーディネート論、食品評価論、食品流通論が講義される。

■教職科目
栄養教諭一種免許状の取得を目指す。

	1年 前学期	1年 後学期	2年 前学期	2年 後学期	3年 前学期	3年 後学期	4年 前学期	4年 後学期
給食経営管理論			※**給食経営管理論Ⅰ** 2	※**給食経営管理論Ⅱ** 2	※**給食経営管理論実習** 1			
総合演習					※**総合演習Ⅰ** 1	※**総合演習Ⅱ** 1		※管理栄養士演習 1
臨地実習						※★公衆栄養学臨地実習 ① ※★給食経営管理論臨地実習 ① ※**給食管理臨地実習** 1 ※臨床栄養学臨地実習 2		
卒業研究							※**卒業研究Ⅰ** 1	卒業研究Ⅱ ①
専門関連科目		フードスペシャリスト論 ②	食品流通論 ②	食品評価論 ②		フードコーディネート論 ②		
専門関連科目							有機化学 ②	
専門関連科目						専門職ネットワーク演習 ①		
専門関連科目	心理学概論 ②	カウンセリング論 ②						
教職科目	教職概論 ②							
教職科目								教育原理 ②
教職科目		教育心理学 ② ※●発達心理学 ②						
教職科目							特別支援教育の理解と方法 ①	
教職科目							日本国憲法 ②	教育行政学 ②
教職科目			教育課程論 ② 教育の方法と技術（情報通信技術の活用を含む。） ②					
教職科目						道徳の指導法 ②		
教職科目				総合的な学習の時間と特別活動の指導法 ②				
教職科目					生徒指導の理論と方法 ②			
教職科目					教育相談の理論と方法 ②			
教職科目					学校栄養教育法 ②	学校栄養指導論 ②		
教職科目							栄養教育実習事前・事後指導 ① 栄養教育実習 ①	
教職科目								教職実践演習(栄養教諭) ②